

放射能汚染から市民を守るには 厚木市から「原発撤退」を

一般質問
栗山香代子議員

12月議会一般質問が行われ、日本共産党の栗山香代子議員は5日（月）、放射能汚染から市民を守る取り組みについて質問しました。



放射能汚染から市民を守る
栗山香代子議員

います。

国民は今日食べるものに不安を感じながら、さらに、5年先10年先、あるいは20年、30年先にどんなことが起こるのか、不安な日々を過ごしているのが現実です。

厚木市内でも、福島原発の事故の後、子どもを連れて避難したり、仕事で西日本に行けば野菜を買い込んでくるとの話も聞きました。また、子どもの尿を検査したところ、放射性セシウムが検出されたとの声も届いています。

福島原発から遠く400キロ離れている厚木でも、不安がこんなに広がっているのです。市民の安心安全を確保するために、厚木市がどのようにしていくのか、また、できることは何かをお聞かせします。

放射能の影響と対応について
市長 本市では、他市より厳しい基準を設け、定期的な空間放

射線量の測定を行っているほか、給食用食材の検査や公園、保育所、教育施設等の砂場なども測定の対象としております。

これまでの結果、小学校の二校で、基準値を上回った地点が在りましたので、除染をした後、再測定をし、安全を確認しました。

今後についても、これまでの測定を継続するとともに、測定結果などの情報を公表し、市民の不安解消に努めてまいります。今後の方向性につきましましては、市民の安心・安全を最優先に、国の方針などを注視し、適切な対策を講じてまいります。

また、厚木市地域防災計画への反映ですが、放射性物質対策は、市内にある取り扱い事業者や放射性物質を積載し東名高速道路を通行する車両などの事故を想定しております。

今回の福島第一原発事故やそのほかにも放射能による危険要因が想定されていることなどから、現在、国・県による見直し作業の動向を踏まえ、厚木市地域防災計画に反映してまいります。

**原発に依存しない
エネルギー対策について**

市長 今回の東日本大震災に伴う原発事故を受け、原発の安全性については、様々な議論がなされているところでございます。こうした中、太陽光発電をは

議会一般質問前の12月3日、I T P P学習会（厚木革新懇主催）に参加。講師の佐藤洋さんと。（上：釘丸議員）同日、厚木市文化会館で「交通安全市民総ぐるみ大会」



がありました。事故件数は減っているのに、死亡事故が増えています。年末年始、交通安全に努めましょう。（左：栗山議員）

12月議会今後の予定

12月12日（月）	市民福祉常任委員会（釘丸議員）
13日（火）	環境教育常任委員会
14日（水）	都市経済常任委員会（栗山議員）
16日（金）	議会運営委員会
21日（水）	議会運営委員会・本会議

時間は、午前9時から
ぜひ、傍聴においでください。

じめとする再生可能エネルギーの利用については、有効な手段として考えており、さらにこれらの導入と普及を進めてまいります。

栗山議員 市は様々な対応をしていますが、対症療法だけではなく、根本的な対応が必要でなく、国の動向を見るだけでなく、厚木から国に原発撤退を働きかけていくべきではないでしょうか。

副市長 原子力政策は今後のエネルギー政策にとって重要で、安全神話が崩壊したとの議論もあります。本市は再生可能エネルギーを進めていきます。



12月の法律相談は

12月15日（木）14時～

事前の連絡をお願いします。